

中央大学 法と正義の資料館 第2回企画展

入場無料

戦争が終わると



森重昭と被爆米兵調査

2025.5.17sat - 2026.3.31tue

会場：中央大学 法と正義の資料館 企画展示室

開館時間：10:00-17:00／休館日：日曜・祝日

※ご来館の際は、資料館webサイトから最新の開館スケジュールをご確認ください。



中央大学 法と正義の資料館
The Museum of Law and Justice

行動する知性。
 中央大学



森 重昭と被爆米兵調査

戦争が終わる ということ



原爆犠牲米軍人慰霊銘板



森 重昭氏



被爆米兵調査スクラップブック
(森 重昭氏所蔵)

企画展の構成

- はじめに：戦後80年を迎えて
- 第1章：アジア・太平洋戦争と呉軍港空襲
- 第2章：ロンサムレディー号
- 第3章：森 重昭と被爆米兵調査
- 第4章：戦争が終わるということ
- おわりに

2025年はアジア・太平洋戦争の終戦から80年となります。こうした節目に、本展「森 重昭と被爆米兵調査—戦争が終わるということ」では、2016年5月27日にオバマ大統領が史上初の現職大統領として広島を訪問した際、被爆者代表として抱擁を交わした本学出身者森 重昭とその活動にフォーカスしていきます。

森は広島への原爆投下に遭った被爆者です。彼は戦後になり、日本軍の捕虜として広島で被爆したアメリカ軍兵士の調査に従事し、その足跡を明らかにしました。さらに被爆米兵の遺族に対し、自身の調査の内容を手紙で伝えるという活動を行っています。

本展ではこうした森の活動から、戦後80年を迎える今、改めて「戦争が終わるということ」について考えてみたいと思います。

